

やはば 議会だより

224

2023.4.24

岩手県
矢巾町議会



令和5年度予算 目玉事業

子育て支援を拡大 2

予算決算常任委員会

予算審議議論白熱 6

町政を問う

代表質問3会派・一般質問10議員 12

徳田保育園入園式
(関連記事...P28)

を拡大 目玉事業

議会定例会3月会議は、2月16日から3月16日までの29日間開催され、令和5年度予算6議案など原案のとおり可決しました。

防災強化



消防自動車更新事業
3210万円

徳丹城跡整備



史跡公園整備事業
6700万円

町営住宅補修



三堤住宅1号棟の屋根補修
3760万円

林業振興



グリーン成長総合対策事業委託料
850万円

金額は10万円未満切り捨て

令和
5年度

子育て支援

本年度の

学校給食



学校給食費 3人目以降を無償
660万円

子育て家庭支援



出産・子育て応援事業
1780万円

保育士奨学金応援



保育士奨学金返済支援補助金
140万円

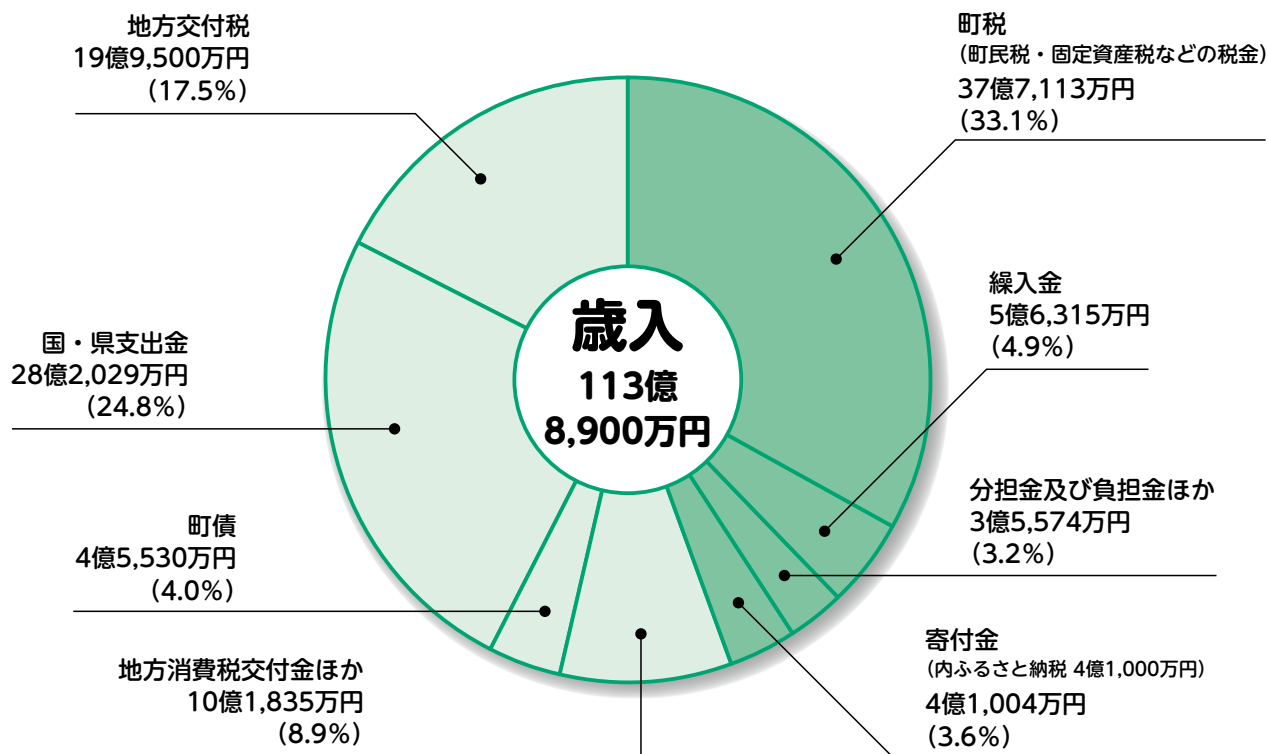


骨髄ドナー支援事業助成金
40万円

向けた予算

令和5年度の当初予算を可決しました。一般会計の予算は、前年度より7,390万円増額し、総額113億8900万円となりました。

一般会計 **入ってくるお金** 自主財源 44.8% 依存財源 55.2%



用語解説

自主財源	町が皆さんから集めたお金
依存財源	国や県からもらえるお金
繰入金	町の貯金を取り崩して使うこと
分担金・負担金	保育料など、特定のサービスを受ける者からもらうお金
町債	町が借り入れたお金
国・県支出金	国や県からの補助
地方交付税	国が市町村の人口や面積などの割合を基に交付するお金

国民健康保険事業

25億2,051万円



国保加入者の医療費や
特定健診、保健指導など

介護保険事業

24億9,244万円



介護サービスの給付、
介護予防事業など

後期高齢者医療

2億7,355万円

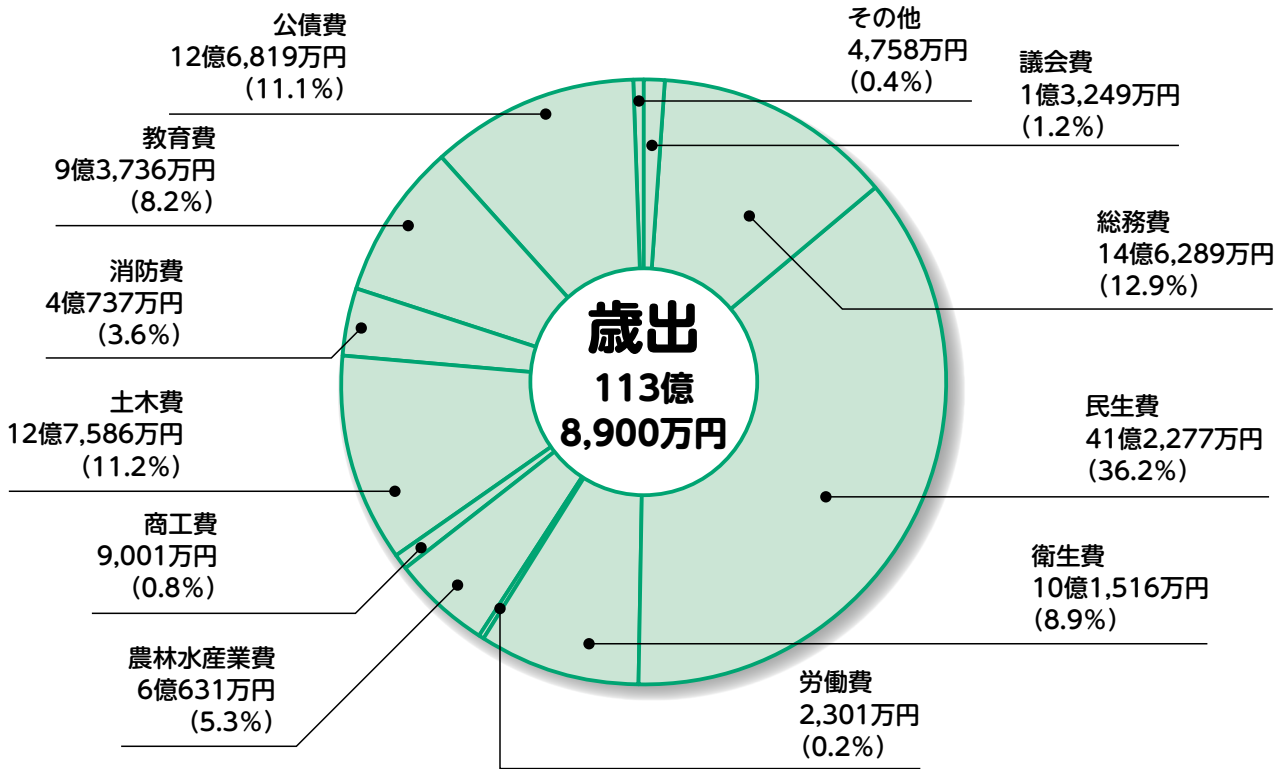


主に75歳以上の方に保険証
交付や高額療養費の受付など

令和5年度予算 可決

福祉充実

一般会計 使うお金



用語解説	項目	説明
	総務費	庁舎、財産等の維持管理等のための経費
	民生費	児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費
	衛生費	ゴミ処理、予防接種（コロナワクチン含む）などの経費
	労働費	就労者を支援する貸付け等の経費
	商工費	中小企業に利子補給融資（コロナ対策費含む）や観光振興の経費
	公債費	町が借りたお金の返済

水道事業会計		
収益的	収入	8億8,912万円
	支出	7億3,152万円
資本的	収入	1億5,947万円
	支出	7億6,110万円

下水道事業会計		
収益的	収入	11億3,311万円
	支出	11億2,470万円
資本的	収入	2億7,321万円
	支出	6億6,848万円

用語説明
収益的 ：水道水の供給や汚水の処理の予算
資本的 ：施設の新設や再整備の予算

※水道・下水道事業会計は複式簿記で会計処理を行う企業会計なので、記載の方法が異なります。

令和5年度
議 算 審 議
予 算

議論 予算決算 白熱

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（廣田清美委員長、昆秀一副委員長）で審議しました。

一般会計

財政

質問 地方消費税交付金が前年より増えているが、コロナ禍の影響は。

回答 一般の消費は控えめだが国全体としては伸びている。

質問 マイナンバーカードの駆け込み申請の状況は。

回答 2月の最終週は申請が1日150件の時もあったが、大きなトラブルはなかった。

質問 全国のコミュニティバスの収益率は30%が良好といわれるが、町の市街地循環バスほどの程度か。

回答 令和3年度は22・3%で、町地域公共交通計画では将来も含め目標値を20%以上としている。

質問 過労死ライン80時間を超えて勤務している職員はいるか。また、有給休暇の取得状況は。

回答 季節的な要因で80時間前後の職員は2〜3人いる。令和3年度の年次休暇の消化率は26・6%であり、今後は休暇を取りやすい環境に改善を図る。

質問 防災ラジオの普及率が20・5%で低いのでは。今後の普及方法は。

回答 令和5年度に行う防災マップの説明会等で周知する。

総務・防災

質問 消防団員の年額報酬が前年より少ないが、出勤報酬は増えている。その理由は。

回答 処遇改善で若い団員の年額報酬を上げた。出勤報酬も上げたが、実績ベースで算定した結果、前年比減になった。

質問 町営住宅の家賃収入が年々減少している理由は。

回答 建物の劣化と地価を考慮し、入居者の収入から決めているため、基本的には年々下がる仕組みになっている。



質問 防犯灯設置事業補助金の計画数と1基あたりの設置費用は。

回答 17自治会に新規設置28基、LED交換40基を予定している。新規設置は1基あたり上限7万円のうち半額を助成。

質問 消防団員の年額報酬が前年より少ないが、出勤報酬は増えている。その理由は。

回答 処遇改善で若い団員の年額報酬を上げた。出勤報酬も上げたが、実績ベースで算定した結果、前年比減になった。

質問 町営住宅の家賃収入が年々減少している理由は。

回答 建物の劣化と地価を考慮し、入居者の収入から決めているため、基本的には年々下がる仕組みになっている。

まちづくり

質問 観光客の数が伸びているが、カウント方法と伸びた要因は。

回答 町内ビジネスホテルや施設などへの来訪者数を数えている。

質問 令和3年度に西部地域にアスレチック施設ができたことが大きな要因。

回答 民間団体が中心となり町と里山整備事業のほか、散策道の草刈りや植林など、できる事から進めている。

質問 西部地区や徳丹城など観光の長期的展望は。

回答 駅の情報ステーションを活用し、町内の観光地を結ぶ小さな旅等を計画している。

質問 「水辺の里」整備の考えは。

回答 民間団体が中心となり町と里山整備事業のほか、散策道の草刈りや植林など、できる事から進めている。



水辺の里 宮沢賢治歌碑（南昌の湯手前）

産業・建設

質問 有害鳥獣駆除事業の新規狩猟者補助金は、何人分か。

また電柵設置の予定箇所は。

回答 新規狩猟者は上限10万円で5人分を計上。

電気柵は南昌地区、清水野地区の個別圃場を予定。

質問 盛岡広域でジビエについての話題があつたが、その後の状況は。

回答 盛岡広域鳥獣被害対策連絡協議会で、ジビエの処理加工施設を検討したが、捕獲件数が少なく建設は難しい。今後、捕獲技術を高め頭数を増やす必要がある。



質問 令和4年度に、ひまわりオイルの商品化を研修しているが、今後の計画は。

回答 和味フラワーパーク30㍓に試験的に搾油できる鑑賞用品種を作付けして、商品化に向け準備を進めている。



質問 水田活用の直接支払交付金見直しで、意向調査を実施したが現場に説明がないまま今後の意向を確認されても答えようがない。

畑地化促進事業は5年間だけであり、その後の支援をどう考えるか。

回答 意向調査は国から早急に回答を求められ、説明不足であった。調査の結果を踏まえこれから詰めていかなければならないと考えている。

6年目以降の農業者支援は引き続き国に強く要望する。

質問 圃場に隣接する町道の草刈りは、農家が自主的にやっている。

通行量の多い道路では、飛び石で車などを傷つけることがあるがその場合、町の保険等で対応できるか。

回答 多面的機能支払い保険で該当する場合もあるので、町に申し出る。

質問 地域計画策定について令和5年度後半に再度説明会を開くということだが、その間、地域としてどう対応するべきか。

回答 地区の集まりがあった際、地域計画の話題を出していただきたい。

その考えを踏まえて目標地図作成に向けて進めて行く。



ねむの木公園で遊ぶ子ども（矢幅駅前）

福祉・子育て

質問 引きこもりの状況は。

また、把握の仕方や対応は。

回答 ここ数年39人で同じ人数であり、家族や民生児童委員からの相談で把握。関係機関へつなげ解決した例もある。

センターの事業は利用者が伸びないが、利用者の声は集約しているか。

回答 令和3年度のアンケート結果ではファミリーサポートを知っている人が6割。利用しない理由には見えてくる家族がいる、他人に預けるのが不安などであった。

質問 児童福祉費が前年より減額になっているが理由は。

回答 児童261人を想定しており、児童数が減少したためである。

質問 第3子以降の給食費無償化は、費用が掛かる高校生等から数えない理由は。

回答 3人以上の小中学生がいれば、負担軽減になる。令和5年度の検証結果および財政状況を踏まえ検討する。

質問 ファミリーサポートセ

議論白熱 令和5年度予算審議 予算決算常任委員会

未来を担う子どもにチャンス

教育・文化

質問 令和5年度の国際交流事業は、招聘を実施するが派遣は行わないというが、その理由は。

回答 コロナ禍で3年間途絶えていたこともあり、教員、生徒、保護者に改めてフリモントとの交流について説明しなければならぬ。十分説明をしながら派遣を再開したい。

質問 派遣事業には補助金制度があるが、経済的に余裕がない子どもに対しチャンスを与えるため、負担軽減になるよう検討しては。

回答 令和元年までに町から380名を派遣している。

今後、経済的支援も含め町国際交流協会や学校とも協議し、みんな等しく対応できるように進めていく。

質問 年々、史跡整備予算が減少しているが、今後の徳丹城整備の取り組みは。

回答 史跡徳丹城整備活動委員会第2次計画を基に進めているが、国の予算で限りがあり若干遅れている。

第3次計画に盛り込み整備方針を説明していきたい。駐車場用地の活用も検討中であり、官民連携で進めていく。



4年前のフリモントとの交流

企業会計

上下水道

質問 水道検診にスマートメーターの試行的導入を行うようだが、その件数は。

回答 設置は検針員が作業しにくい場所など30件を想定している。

質問 マンホール蓋の段差確認や解消の考えは。

回答 更新箇所は、段差がでないようにしている。既存の蓋は道路担当課と連携し段差の解消に努めている。



東部配水場のタンク（藤沢行政区）

質問 令和3年度実施の有収率の実績は。また鉄蓋から雨水や雪解け水が入る割合は。

回答 地下から入る分もあるが、概ね10%が鉄蓋から入ると想定している。今後も鉄蓋交換などの対策をする。

質問 3地区で宅地開発が行われているが、給水は東部配水場だけの利用で足りるか。

回答 開発する際に業者と協議している。施設利用率は3地区の総水量を含めても72・6%であり、配水のバランスを取るため、東西連絡管を活用する。

予算決算常任委員会 委員長 廣田 清実

18項目の意見を附し可決

- ① 街路灯の基準を変更し、通学路等においては早期に設置されたい。
- ② 健全育成事業（国際交流）は、派遣事業についても、出来るだけ早い時期に取組みを再開されたい。
- ③ 学校で実施している地域安全マップづくりには、地域住民も一緒に作成を推進するとともに、校内においての事件を想定した避難訓練を早急に行われたい。
- ④ 安全安心なまちづくりに向け、標識や信号機設置について、関係機関に働きかけを強化し、生活道路と通学路の整備にも力を入れて取り組まれたい。
- ⑤ 世代間交流目的の「縁（えん）ジョイやはば」等の活動を、さらに推進されたい。
- ⑥ 特に男性職員の育児・介護休暇取得の充実に努められたい。
- ⑦ 高齢者宅の除雪作業は、実態に合った支援となっているのか検証されたい。
- ⑧ 学校給食については物価高騰の折、保護者の負担増とならないよう取り組み、さらに完全無償化を早期に検討されたい。
- ⑨ 医療的ケア児の保護者負担軽減に努められたい。
- ⑩ 移住・定住促進に向けて各種支援策のPRに努め、さらに空き家バンクの登録を推進されたい。
- ⑪ 矢巾・高田町営住宅の建て替えについては十分な検討をされたい。
- ⑫ 新規就農者の確保に向け各種支援制度の周知に努めるとともに、農業者の育成を図るため農業研修制度の創設に向けた検討を進められたい。
- ⑬ 肥料・飼料・資材の高騰で厳しい農業者に対し、継続性のある支援を行われたい。
- ⑭ 冬期・就寝中の災害を想定した対策も進められたい。
- ⑮ 災害避難時の食事には備蓄食料をローリングストックとして、子ども食堂・共同調理場等で活用されたい。
- ⑯ 防災ラジオの普及は世帯30%以上3000台を目標に更なる普及に努められたい。
- ⑰ 食料安全確保のためにも、農業業ビジョン見直しを機に、具体的な体制整備に努められたい。
- ⑱ 財政改善の取組みとして、ふるさと納税強化に努められたい。



表決に付される前に、2人の議員から、反対と賛成の意見がありました。

フューチャーデザイン手法に反対

フューチャーデザインへの考えをまちづくりの柱にしているが、50年後の未来社会から見たまちづくりが適切か問題である。また、カタカナ語が多く町民に分かりづらい。水道の高区配水塔は、自然流下で配水されSDGsにもなっており、3基の治山ダムが事前防災と国土強靱化の目的を果たせることから、移転新設せずそのまま耐用年数まで活用すべきである。

小川 文子

町民目線の施策を評価

利便性の高いバス情報案内システムの構築計画や新規農業者就農計画の取り組み。小中学校に在籍する3人目以降の児童の給食費無償化や出産・子育て世代への支援策。スマートメーター通信システムを活用した水道検針の実証実験など、町民の福祉・生活の向上に繋がる町民目線の施策を評価する。

村松 信一

未来戦略課を新設し

重要施策を推進

1月27日に令和5年1月第2回会議を、2月8日に2月会議を、2月16日から3月16日まで3月会議を開催し、条例改正や補正予算などを審議し、すべて可決しました。令和4年度一般会計の総額は131億6719万円となりました。

1月第2回会議

補正予算

ふるさと納税を増額

総額5億6千万円に

▽一般寄付金(ふるさと納税)
1億6000万円

2月会議

補正予算

除雪費を増額

総額1億6千万円に

▼除雪委託料

6000万円

質問 先般の大雪では夜間の除雪作業だったが、豪雪時の日中の出勤体制はどのようになっているか。

回答 一部は日中に出勤した。今後も交通量や作業の安全性を考慮し検討しながら、日中の出勤を行っていく。

3月会議

条例

認知症とともに生きる まちづくり条例を制定

超高齢化社会を迎え、すべての人が認知症に関するサポートや理解をすることで、誰もが不安なく、安心して暮らし続けるまちを目指します。認知症本人や家族、事業者、関係機関などの役割を明確にします。

未来戦略課を新設

令和5年度から重要施策に取り組むため、新しく未来戦略課を設置します。

これまで、それぞれの担当部署で取り組んでいた土地利用や企業誘致などの課題について組織的に取り組み、推進する役割を担います。

園児送迎バス見落とし 防止装置に補助

▼私立保育園助成事業

保育対策総合支援補助金

60万円

▼除雪委託料

5250万円



道路の除雪模様

出産育児一時金

50万円に

国民健康保険加入者の出産に係る経済的負担軽減のため、出産育児一時金を50万円に改正します。



かっこうグラウンド



ゆうゆう広場

利活用が検討中の町有地などの課題解決が期待される。

県営ほ場整備事業（矢次・広宮沢） 前倒しで整備を実施

県営農業競争力強化基盤整備
事業負担金

1980万円

令和5年度に実施予定の県営圃場整備事業を前倒しで実施します。

中小企業支援事業 新型コロナウイルス感染症対策 資金利子補給等基金積立金

523万円

中小企業支援のため、国のコロナ交付金を活用し令和6年度分までの利子補給金を積み立てます。

新しく設置される介護施設 整備に補助

介護施設等整備事業補助金

3000万円



シェーンハイムやはば（土橋行政区）

特別養護老人ホームが60床の増設予定に補助します。

賛否が分かれた議案の採決状況

令和5年定例会3月会議

議案番号	提出議案	議員名	藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清実	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川文子	山崎道夫	廣田光男	高橋七郎	採決結果	
第13号	令和5年度一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可
第14号	令和5年度国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第15号	令和5年度介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第16号	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第17号	令和5年度水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第18号	令和5年度下水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第20号	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第25号	行政情報公開条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
発議案第1号	議会の個人情報の保護に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
発議案第2号	議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
発議案第3号	議会が保有する町個人情報保護条例施行規程を廃止する訓令		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 同=同意 認=認定

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

そのほかの議案は全会一致ですべて可決しました。

ズバリ 町政を問う

掲載の質疑内容は、質問した議員が自ら原稿を書いています。

代表質問

3 交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。
(本町では、3 名以上で構成される会派を交渉会派としています。)

- 町民の会 廣田 清実 議員**…………… P 13
 - ①令和 5 年度町長施政方針について
 - ②令和 5 年度教育行政方針について
- 一心会 山崎 道夫 議員**…………… P 14
 - ①矢巾町が自立して発展していく施策の推進について
 - ②教育行政推進の取り組みについて
- 矢巾明進会 長谷川 和男 議員** …… P 15
 - ①第 7 次矢巾町総合計画後期基本計画の検証と第 8 次への取り組みについて
 - ②町産農産物の消費拡大と特産品開発について
 - ③「快適と安全性を高めるまちづくり」と「豊かな生活環境を守るまちづくり」について
 - ④教育への取り組みについて ⑤本町の水源確保施策について

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●村松 信一 議員…………… P 16 <ul style="list-style-type: none"> ①令和 5 年度施政方針について ②多面的機能支払交付金について ③教育行政方針について ●昆 秀一 議員…………… P 17 <ul style="list-style-type: none"> ①投票率向上を目指す ②貧困対策について ③次世代を継ぐ若者への支援を ④認知症でも安心して暮らせるまちづくり ●小笠原 佳子 議員…………… P 18 <ul style="list-style-type: none"> ①妊産婦医療費助成事業について ②高齢者の支え合い、助け合う地域社会の構築について ③所有者不明土地の現状と活用について ●藤原 信悦 議員…………… P 19 <ul style="list-style-type: none"> ①一般国道 4 号盛岡南道路事業化に伴う町道中央 1 号線の整備等について ②産業振興センターについて ●赤丸 秀雄 議員…………… P 20 <ul style="list-style-type: none"> ①町長の施政方針演述内容について ②教育長の教育行政方針内容について | <ul style="list-style-type: none"> ●高橋 七郎 議員…………… P 21 <ul style="list-style-type: none"> ①町政課題について ②町政への貢献に対する表彰について ③選挙制度等について ●小川 文子 議員…………… P 22 <ul style="list-style-type: none"> ①保育政策について ②物価高騰対策について ③高区配水塔の建設計画とやまゆりハウスの安全対策について ④パートナーシップ制度の導入について ●川村 よし子 議員…………… P 23 <ul style="list-style-type: none"> ①国民健康保険制度について ②非正規雇用労働者の処遇について ③学校給食費について ●藤原 梅昭 議員…………… P 24 <ul style="list-style-type: none"> ①「快適性と安全性を高めるまちづくり」について ②産業の活力を高めるまちづくりについて ③安心と信頼が寄せられる行政経営について ●谷上 知子 議員…………… P 25 <ul style="list-style-type: none"> ①宅地開発について ②子育て支援について ③中央 1 号線の県道昇格に向けた取り組みについて |
|---|--|

※上記は、事前に提出された通告書の項目です。次ページからの内容は紙面の都合上、一部要約して掲載しています。詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

子ども・子育ての支援策は 令和5年度から支援事業拡大へ



どんぐりっこで遊ぶ家族（やはば一く）

質問 教育行政方針からの「子ども・子育て支援充実」について現在および来年度からの事業内容は、**教育長** 3歳未満児の保育料は、国の制度において保育所、子ども園等を利用する3人以上の子どもがいる場合、2人

目は半額、3人目以降は無償となっている。

また、町独自の助成として、義務教育の児童生徒がいる場合、3人目から無料としているが、来年度からは2人目以降を無料にする予定。

なお給食費についても、町立小中学校に通学する児童生徒が3人以上いる世帯に対し3人目以降は無償化を予定。

質問 在宅で育児する家庭への支援はどうなるのか。

教育長 家庭育児支援として毎月1万円の支給を予定。

女性が輝く 企業誘致は

積極的に検討する

質問 女性が輝く事業者の企業誘致に絞って行つては。

町長 現在、物流関連の問い合わせが多い。今後は製造業、情報サービス業、医療関連事業者等の誘致活動に取り組み、女性が輝く事業者も積極的にアプローチしていきたい。

新宅地の広報は

町独自の広報を検討

質問 新しく市街化区域に編入された住宅地について、事業者とは別に住宅地が出来ることをアピールしては。

町長 移住、定住促進のため、人口減少対策の一環としても町独自のピエール活動を検討していきたい。

自治会への

転入者連絡は

自治会長会議で検討

質問 自治会内において住民のつながりは、防災の観点からも重要と考える。

現在、自治会長に対する転入者の連絡はどのようになっているか。

町長 現在、個人情報関連から自治会長には転入者の連絡はしていないが、町からの配布業務委託のため行政区長には世帯主のみ連絡。今後は自治会長会議で検討したい。

要望の多い道路網の整備を 渋滞の常態化防止に努める



やまざき みちお
山崎 道夫 議員
(一心会)



渋滞する町道中央1号線（東小学校北側交差点）

質問 住み良いまちづくりに向け、町民要望が多い道路網の整備に、もっと力を入れるべきではないか。

町長 藤沢第2地区、田中地区、下花立地区の開発に伴い、周辺道路の渋滞が常態化しないよう、信号機の設置や車線

規制の変更など、関係機関と協議し道路網整備を検討していく。

質問 本町は東西を結ぶ道路の整備が遅れている。

均衡ある発展と渋滞緩和の観点から、早期に都市計画道路の整備を進め、東西を直線で結ぶ道路網整備に取り組みべきではないか。

町長 産業技術短期大学の東側に町道田浦線の創設用地を確保しており、その活用や盛岡南道路の設計内容を踏まえ今後、周辺道路網整備の構築について検討していく。

一人親家庭へ 支援米支給を

各種相談に対応

質問 物価高騰等で一人親家庭は特に厳しい状況である。町産米の支給による支援を行っているかどうか。

町長 現在、食料支援やサニタリー用品等の支援を行っており、支援米の相談があった

場合も丁寧に対応する。

教職員さらなる 働き方改革を

多忙化解消に

取り組む

質問 本町の教職員の長時間労働等の是正に向けた目標や対策を定める「働き方改革プラン」を3月に策定することである。

過労死ラインである月80時間の超過勤務などの改善に向け、本腰を入れた取り組みに決意を示されたい。

教員長 教職員衛生委員会において、時間外勤務の状況を確認しながら働き方改革の取り組み事例等を共有し、学校及び教育委員会が一体となって取り組みを進めてきた。

この3月に矢巾町教職員働き方改革プランを策定し公表することで、学校の実情に応じた主体的な取り組みにより、長時間労働の縮減に努め、多忙感の軽減に取り組んでいきたい。



はせがわ かずお
長谷川 和男 議員
(矢巾明進会)

小中学校規模 配置のあり方は 案を策定し 町民の意見を反映

質問 小中学校の適正規模、適正配置について、今後どのように取り組んでいくのか。

教育長 町立学校通学区区域審議会の答申を受け、今年度内に適正規模、適正配置に関する基本方針案を作成する。

町民の意見を聴きながら策定に向け取り組んでいく。

質問 徳丹城跡関連の事業もほぼ完了し、文化庁との取り交わしにある徳田小学校移転のみが残された。早期に方針を示すべきではないか。

教育長 2020年までに移転しなければならぬほど老朽化等が進んだ時には移転という取り交わし内容である。現時点では耐用年数が終わるまでは大丈夫と考える。



宅地造成工事が始まった田中地区 (不来方高校南側)

省エネ施策の 取り組みは

交付金で

補助制度を計画

質問 昨年、脱炭素社会の実

を活用した事業計画を提出している。

個人や事業所向けに自家消費型太陽光発電設備などの補助制度を考えており、事業が採択された場合は、ゼロカーボンシティに向けてスタートアップとして取り組んでいく。

重要課題

組織見直しは

未来戦略課と

教育次長を設置

質問 施策が変われば組織の体制も見直す必要があると考える。

新たなまちづくりに向け、組織体制の見直しや強化の考えは。

町長 政策推進監の組織として未来戦略課を設置し、全体の課のまとめ役となり、まちづくりに係る重要案件について対応していく。

教育委員会では教育次長制度を取り入れ、教育委員会全体の案件に取り組み強化をはかる。

子育てに対する施策は 第2子以降の保育料無償化等



むらまつ のぶ かつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

質問 子ども・子育て支援に対する支援策は。

教育長 来年度から県補助金を活用し、第2子以降の保育料無償化及び未就園児に月額1万円の支援金を給付する。
また、町独自の支援として副食費の助成、保育士奨学金返済補助事業等を実施する。

質問 子育て期全般にわたる子育て支援ネットワークの担い手・地域の役割の状況は。

教育長 地域の子育てボランティアも参加しての講習会開催など、子育て家庭の居場所づくりを行っている。

質問 保育体制の強化は。

教育長 保育支援員等を配置



給食風景 (ふどうこども園)

し保育士の負担軽減を図り働きやすい職場環境を整備する。

質問 小学校入学の子ども達を就学前から支援する施策は。

教育長 幼保小連携で入学体験交流、就学先の校舎や1年生の学校生活の見学を実施。

質問 児童館での遊びや生活の支援内容は。

教育長 遊び等を通じた児童の社会性を育む支援のほか、トラブル発生時、児童同士での解決方法や考える力を育むよう支援している。

DXの推進とは

情報を速やかに提供

質問 町民向け携帯端末アプリを開発するところがあるが、どのような内容か。また行政にどのような効果があるか。

町長 ゴミ分別確認機能や問い合わせ機能など利用者が気軽に調べられる環境を整備するとともに、利用者から町への道路穴ぼこや不法投棄の情報提供等ができる仕組みづくりを行う。

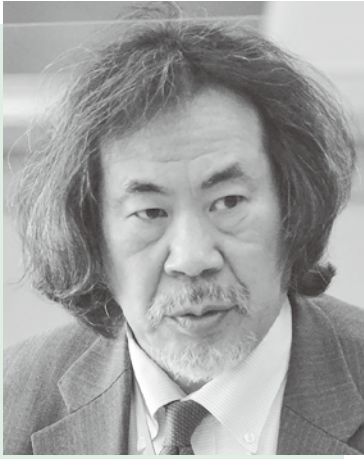
多面的機能 本町の規約は

県の例文を使用

質問 多面的機能支払交付金事業における本町の工事請負契約の規則はあるか。

町長 町独自の規則は制定していない。

契約事務については、県の多面的機能支払推進協議会の例文を使用させていただく。



こん 昆 しゅういち 議員 (一心会)

投票率を上げる施策は さらなる啓発に取り組む

質問 最近の選挙は投票率の低下が顕著である。今後どう改善していくつもりなのか。

選挙管理委員長 矢中町明るい選挙推進協議会と連携を図りながら、引き続き啓発活動に取り組む。

質問 投票所に行けない人のために、巡回型移動期日前投票所の準備のほかに、移動が困難な方への支援としてタクシーの無料化をしようか。

選挙管理委員長 現時点では移動投票所の導入やタクシーの無料化などの支援は考えていない。

期日前投票の時間を午後8時までにし、投票しやすい環境づくりに継続して取り組む。

若者と

語り合う場を

若者の声は
町発展に欠かせない

質問 次世代を担う若者と、世代や立場を超えて話し合う場を設けることは必須であると考えられるか。

町長 若者の声を聞くことは町の発展に欠かすことができないと認識している。

現在、矢幅駅内のまちづくりステーション「ハバターク」では、月2回、若者を含めた語り合う場を設けている。

質問 町の情報を小中学生に伝えていくことは重要であり、知ってもらうことが必要と考える。町の考えと伝え方をどう行っているのか。

町長 小学生の時から知ることは非常に大切なことと捉えている。

社会科副読本の「私たちの町やばば」を活用し、町のことを考える機会としている。

認知症理解の

周知は

認知症サポーター
養成講座で

質問 認知症についての理解を、どのように周知しているのか。

町長 認知症の症状や日常生活のサポートなどの理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座を開催し周知している。

質問 認知症の予防・早期発見・早期治療するための取り組みは。

町長 認知症予防を含めた相談対応の他にも、認知症予防体操である「コグニサイズ」にも取り組んでいる。

病気を理解できる時点で受診し、理解を深めていくことで、生活上の障がいや軽減できる場合もあるため、認知症サポーター養成講座の取り組みを推進している。

町は11月5日、「認知症の人にやさしいまちづくり やはば」を宣言しました。超高齢社会の時代において、認知症が特別なものではなく、多量な高齢者に発生する病気であることを認識し、心を通わせたまちづくりを推進し、高齢者が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

町長は、私たちのまちをよりよい町にするために「和といたわりと希望の町」を掲げています。

令和4年11月5日 矢中町長 高橋昌造

チームオレンジやはば祭り 入んじょいセンターで開催
新たな宣言を行った11月5日、町民は入んじょいセンターでチームオレンジ発表まつり（実行委員会主催）が行われました。同センター内と施設周辺は、福祉施設などがアースを巡り、多くの来場者でにぎわいました。

令和4年12月1日 No.26 | 6

認知症の人にやさしいまちづくり やはば宣言

妊産婦医療費の助成は 県に要望し拡充を図る



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)



かわいい新生児たち（やば産婦人科）

質問 妊娠中や出産時の健康保険の適用分は、母体の健康を守るために、自己負担金が助成されている。この制度が妊産婦医療費助成である。妊産婦医療の助成拡充と給付の現状は。

町長 県補助事業において、

ひとつの医療機関1カ月につき外来1500円・入院5000円の自己負担金となっている。

自己負担の軽減については県に要望しているが、町としても検討する。

また、給付費、件数ともに減少傾向にある。

ボランティアに ポイント導入は

町民に提案し検討

質問 高齢者が支え合い、助け合う社会を構築するため、介護支援やボランティア活動などを通じて、高齢者自身が社会参加や地域貢献や健康増進を図っている。

そのようなボランティア活動を行った場合に、町がポイントを付与する「ボランティアポイント」を導入しては。

町長 ボランティアに関するお一人おひとりの考え方を尊重する。

そして高齢者の社会参加等を促すため有効な手法である

と思われるボランティアポイントの導入について、町民に提案し検討する。

所有者不明の 土地状況は

正確な把握が困難

質問 2016年時点で全国には九州本島の面積を上回る約410万ヘクタールの所有者不明の土地があると推計されている。

当町での林地や農地、宅地等不明土地の状況は。

町長 確認可能な不明土地は、被相続人6名で約2・6ヘクタールとなっている。

また、固定資産税が課税されない土地については、所有者死亡後の確認調査が行われていない。

加えて相続の放棄が増えているが正確な把握が出来ていない。

管理不全などによる周辺地域への悪影響や、公共事業の障害も想定される。



ふじ かわら しん えつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)

円滑な搬送経路として整備を 盛岡南道路事業化を踏まえ検討

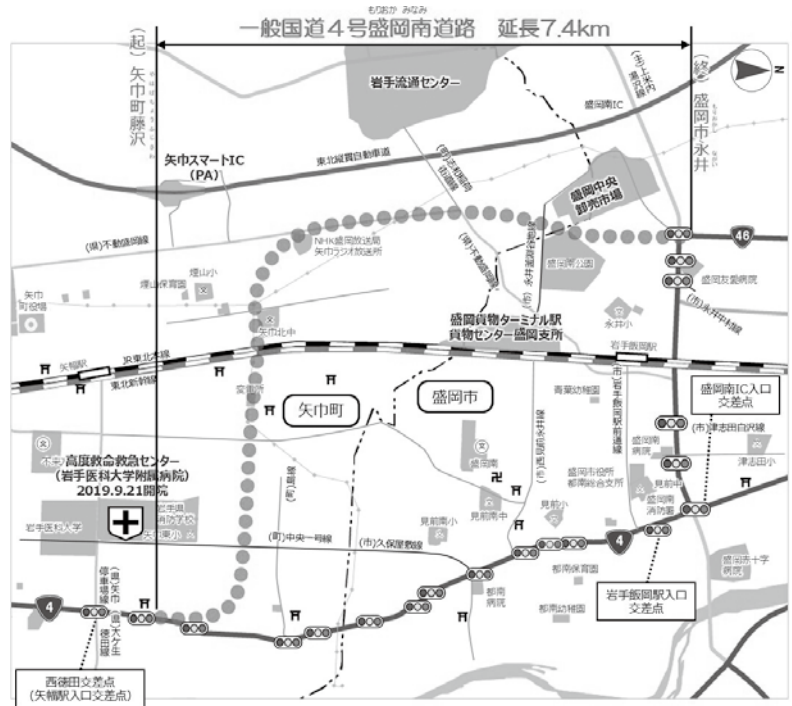
質問 岩手医科大学附属病院前の町道中央1号線は、「国道4号盛岡南道路」との平面交差により交通量の増加が見込まれるが、現状のままでも対応できるか。

町長 附属病院前は、1日2万5千台の交通量を想定し整備しており、今後の増加にも対応できると考える。

他の区間は片側1車線であるが、今後、整備を必要とするかは、盛岡南道路事業の設計や想定交通量から判断する。

質問 町道中央1号線北側、都南病院前の国道4号交差点は、朝夕、混雑する。
一体的な整備を進めるために県道昇格が必要では。

町長 県道昇格については、平成元年に要望を行ったが、地域の市町村道との機能分担や整備・管理の必要性を見極め、判断すると回答があった。今後、紫波町も含め3市町で一体的な道路ネットワークを視野に入れ、命、防災、物流に係わる道路「盛岡南環状



盛岡南道路概要図 (●印が予定ルート)

道路(仮称)として県道昇格を合同で要望していく。

産業振興

センター設置は

協議会で検討

質問 産業振興センターの設置はいつ頃か。

町長 現在、設置に向け準備を進めている。

協議会の立上げを経て、各産業分野での支援体制が整い次第、令和6年度を目途にセンターの設置を考えている。

質問 産業振興におけるセンターの位置づけや役割、また産学官等外部機関との関係は。

町長 協議会において、位置付けや役割、具体的業務内容について関係機関と協議する。外部機関とは特産品開発において農産物と加工製造のクラブの提案や仲介、岩手医科大学と町内の産業を結びつけることも念頭に入れて、具体的に踏み込んだ活動を想定。

質問 産業振興の推進にあたっては、業務知識や実務能力が求められるが、人材の採用や育成についてはどのように考えるか。

町長 岩手中央農業協同組合や町商工会など外部有識者の指導をいただき、協議会において、具体的な組織編成を検討する。

町営住宅建替えの変更理由は

将来の財政見通しを考慮



あか まる ひで お
赤丸 秀雄 議員
(一心会)

設置は地域要望で

通学路に
防犯灯拡充を

町長 建物改装などで延命措置すること、民間住宅の借上げや県営住宅の誘致に努め、住宅課題に取り組んで行く。

質問 どちらの建物も50年以上経ったが、どのように対応する考えか。

町長 将来の財政見通しを考慮した結果、別な方法で住宅課題に取り組みたい。

質問 3年前から検討していた町営矢巾・高田住宅の建替えを凍結したのはなぜか。

質問 小学校付近の防犯灯拡充を求める町民の声が多い。特に秋の夜長5か月間は、安心・安全上も必要と思うが、**町長** 防犯灯設置は地域の必要により設置することとしており、町の半額補助がある。

質問 人口減少している地域は、防犯灯設置負担がきつくと、安全とはいえ設置できない実情があるが。**町長** 現地の安全状況を踏まえ、地域と協議して設置に向け、前向きに検討する。

町政を問う
一般質問

2023/03/17 18:53

学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援新制度 | 文部科学省

文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

サイト内検索 検索

トップ > 教育 > 大学・大学院、専門教育 > 学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援新制度

中学生・高校生・大学生・保護者の皆さんへ

学びたい気持ちを 応援します

高等教育の修学支援新制度
(授業料等減免と給付型奨学金)

大学・短大・高等専門学校、専門学校等での
学びの支援が令和2年4月からスタートしています

https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

1/8

給付型奨学金制度 (文部科学省ホームページより)

結婚、子育てに支障をきたしているが対応策は。
教育長 学生の状況は把握しているが、町の財政も厳しいことをご理解願いたい。

質問 大学生の奨学金利用者の平均額は、400万円に上ると言う。

町財政が厳しい折、すぐに増やすことは難しく、国の動向を見つつ検討したい。

教育長 給付型奨学金制度は令和4年度から開始しており、令和5年度の予定者が4名で合計9名となる。

卒業後、町内に住むことを条件に、給付型奨学金の拡充が必要と思うが。

質問 大学・専門学校・高校等の進学に、経費が掛かり奨学金を利用する学生が増えている。

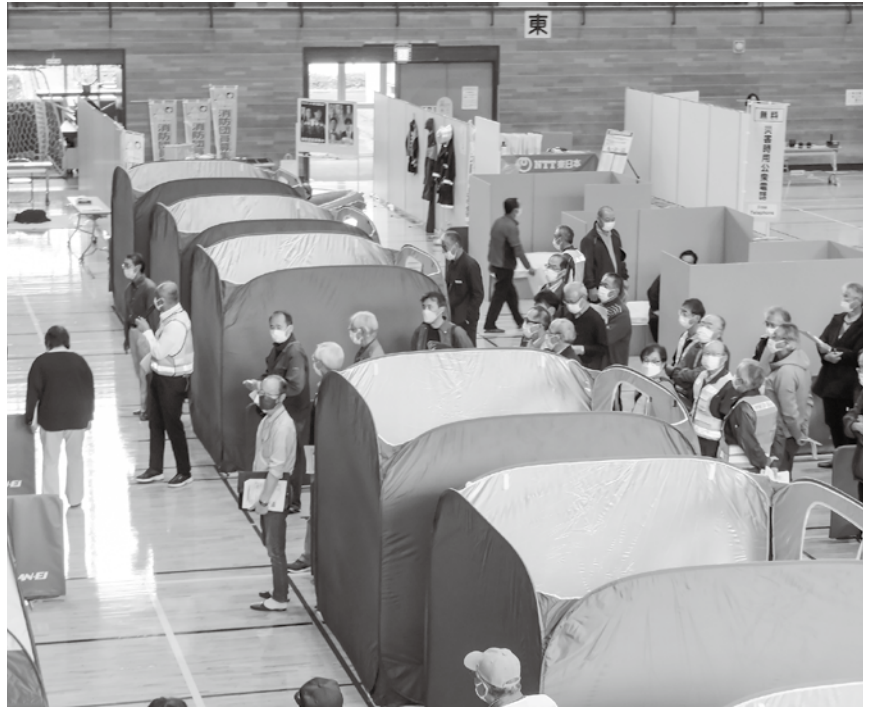
財政が厳しく難しい

給付型奨学金
制度拡充を



たかはし しちろう
高橋 七郎 議員
(町民の会)

消防体制の課題は 常備消防強化と学生団員拡大



町体育館で行われた総合防災訓練 (令和4年10月)

質問 消防・救急体制の充実や、常備消防の強化をどのように推進するか。
町長 盛岡地区広域消防組合本部に対し、盛岡南消防署体制強化の実現を図るため、「現在の南消防署と矢巾分署の統合による組織の強化」「市街

地における中高層建物火災に対応可能な消防車両や資機材等消防装備の充実」「広域消防としての消防車両の追加出动や隣接市町からの応援体制の充実」の3点について提言している。

質問 学生消防団員制度導入への現状は。
町長 学生消防団認証制度を導入し、今年2月末現在で2名の学生が入団した。

質問 消防自動車更新事業はあと2台となったが、早期実現の考えは。
町長 令和5年度に第4部、令和6年度に第13部のポンプ車の更新を予定している。

今後の国際交流 事業の考えは

本年度は受け入れと

派遣に向けて準備

質問 友好都市フリモントとの交流再開について、どのように推進するか。
町長 3年ぶりの交流再開に向けフリモント町から中学生4名、大人2名の予定で訪問団を受け入れる。本町からは令和6年度以降の派遣に向けて準備を進める。

町長 3年ぶりの交流再開に向けフリモント町から中学生4名、大人2名の予定で訪問団を受け入れる。本町からは令和6年度以降の派遣に向けて準備を進める。

期日前投票所 増設の考えは

質問 矢巾町長、町議会議員選挙が今年4月に予定されていることから、矢幅駅東口に臨時の期日前投票所を増設しては。
選挙管理委員長 臨時期日前投票所の利用者も多ことから、実施に向けて周辺施設との協議を行っている。

質問 投票率向上対策の取り組みは。
選挙管理委員長 矢巾町明るい選挙推進協議会と連携を図るとともに、選挙日程等の周知や投票しやすい環境づくりに取り組み、投票率の向上に努める。

保育料無償の考えは 第2子の保育料を無償化



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)

質問 少子化対策・子育て支援を進める上で保育環境の充実が重要である。
保育料無償化の考えは。

教育長 県の基準で第2子以降の保育料を無償化、未就園児の家庭には月額1万円の支援金を給付する。

質問 インクルーシブ保育は。
教育長 昨年、医療的ケア児受け入れのガイドラインを策定し、煙山保育園で受け入れを開始している。

物価高騰支援は
継続して取り組む

質問 物価高騰対策の考えは。
町長 農業者への支援については、生産資材価格高騰対策



長沼養鶏場 (矢次行政区)

支援事業で申請件数388件、287.1万円、肥料等価格高騰農家緊急支援事業で114件60.8万円、畜産農家事業で35件190万5千円。
今後とも、県の施策を周知し、町独自の支援を講じる。
商工業者には、中小企業者給付金事業で290事業者に

10万円の支援金を給付した。

**高区配水塔の
移設計画は**

西部浄水場で対応

質問 高区配水塔(やまゆりハウス西側)の廃止と建設計

画が示されたが急ぐ必要は。

町長 急傾斜のため土砂災害警戒区域への追加指定が予定されており事前防災、国土強靱化の観点から対応策が必要。

質問 高区配水塔は自然流下だが西部浄水場は。

町長 西部浄水場内に配水ポンプ場を整備し圧送する。

質問 やまゆりハウスの安全対策や移転の考えは。

町長 各種安全点検のほか、矢巾温泉全体、地元消防団、自主防災会参加による防災訓練を実施しており移転計画はない。

**パートナーシップ
制度導入は**

県の指針を基に
進める

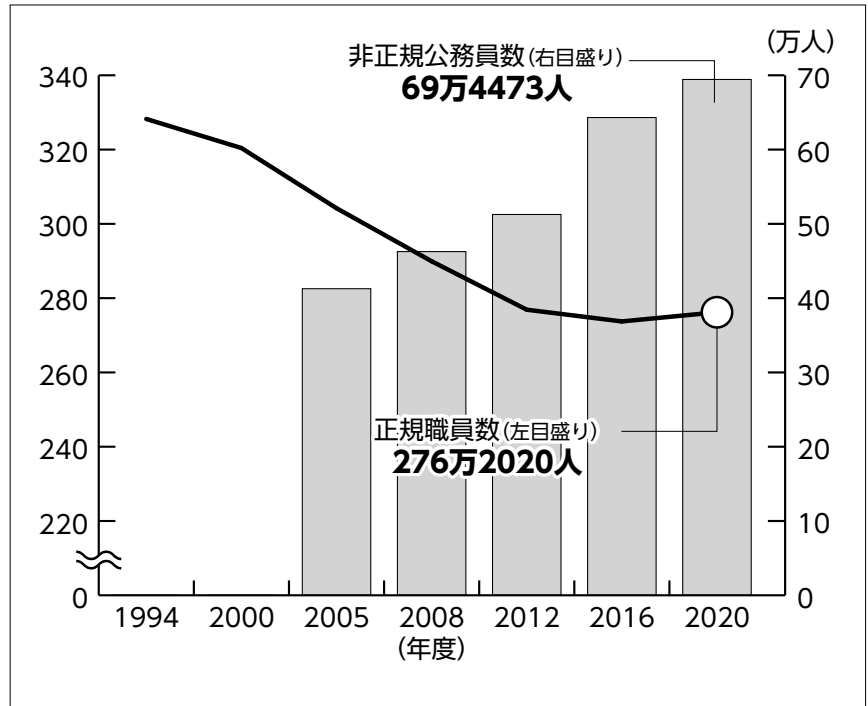
質問 多様性を尊重する社会の実現に向けた制度の導入は。

町長 研修会や広報紙等で町民の理解を図りながら、県の指針を基に進めて行く。

会計年度任用職員の処遇は 県最低賃金基準に合わせている



かわむらこ
川村 よし子 議員
(日本共産党)



正規職員と会計年度任用職員の推移 総務省公表データ (出典：議会と自治体第295号)

質問 会計年度任用職員に期末手当が支給できるようになったが、処遇はどうか。

町長 令和2年度以降、給与の引き上げと期末手当を支給している。

質問 自治労アンケートによると賃金が低く、官製ワーキ

子どもの均等割半額

質問 食料費値上げの中、高すぎる国保税をどう考えるか。

町長 医療費の推移や県に納付する事業費納付金の状況等を踏まえ、必要に応じて見直しする。

国の公的医療保険制度の下で運営している。

国保税の減免額は

ンブアと指摘されている。時給を物価高騰に対応し、1500円にできないか。

町長 県最低賃金基準の時給854円により対応している。

質問 保育現場の会計年度任用職員は正職員と同等に働いているがどう認識しているか。

町長 正職員と会計年度任用職員の責任の違いについて管理職が指導している。保育現場に限らず町行政の運営に当たり、行政を円滑に進めるには処遇を国の制度改正に合わせて対応する。

質問 令和4年度から国は子どもの均等割半額減免を開始した。町として全額免除できないか。

町長 国の半額免除対象者は75人、60世帯となっている。全額免除は一般会計からの法定外繰り入れとなり、交付金200万円程度の減額となることから、改善を国へ要望していく。

地産地消率を高める給食を生産者と連携を図る

質問 給食センター民営化になり地産地消率をどう高めているか。

教育長 地産地消率は52%であり、これまでどおり町内食料調達業者や町内生産者と連携を図り、安全安心のおいしい給食を提供する。

今後のコロナ感染状況を見ながら、生産者と交流する機会を作り地産地消率向上に努める。

トルコ地震への支援対応は 救援金募金を行っている



ふじ かわら うめ あき
藤原 梅昭 議員
(一心会)

質問 関東大震災より100年、東日本大震災より12年となる中、今年2月6日にトルコ・シリア地震が発生したが、当町としての対応は。

町長 「トルコ・シリア地震救援金募金」を行っており、日本赤十字社を通じて状況に応じた支援を検討。

質問 トルコ・シリア地震は、冬期の就寝時に発生し大惨事となったが、当町としても我が事と捉えての対応は。

町長 冬期は、気温が低く乾燥している事から、暖房器具による火災・家財道具の倒れ等の被害もあるので、消防団の広報活動、防災ラジオ等で各種啓発活動を行っている。



災害時の食料ストック品（役場敷地内の町防災倉庫）

質問 東日本大震災より12年経ち、災害復興は大分進んでいるが、今後の被災地・被災者への支援の考えは。

町長 現在支援している事業は無いが、困りごとの相談があった場合は必要な支援に努めていく。

質問 災害時の食事提供対応として、食料品在庫のローリングストックを考えると、子ども食堂との協定により新鮮で栄養価の高い食事が提供可能と思うが考えは。

町長 学校給食センターもあるので、併せて検討したい。

町政を問う 一般質問

農業振興対策は

地域計画策定の

説明会を実施

質問 持続可能な農業振興策として農地利用の将来像を明確化する地域計画への対応状況及び今後の計画は。

町長 説明会は令和5年度末で終わる。今後の計画は、各地域で話し合い、令和6年度の計画策定とする。

質問 地域計画説明会での各地域の意見は。

町長 どの地域でも課題に挙げられたのは①農業者の高齢化②担い手及び後継者の不足③出入り作への対応。
担い手や後継者不足は、農業収入が少ないため、収入増の施策が急務で農業の崩壊を危惧する意見が出された。

質問 一矢巾町農林業ビジョンに見直しの今後の予定は。

町長 本年5月の町農政審議会において審議する。



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(令和やはば)

婚活支援の推進を ワークショップで意識向上



産休パパの推進 (内閣府ホームページ)

質問 出生数が減少傾向にある中、少子化対策は。 **町長** 婚活事業において、結婚意識向上のワークショップを計画している。婚活イベントへの積極的な参加、結婚サポートセンター登録などの結婚支援を推進していく。

質問 子育て世帯の支援策は。 **教育長** 令和5年度から、小中学校に通学する児童生徒が3人以上いる世帯に、3人目以降の学校給食費を無償化。

また、第2子以降の保育料無償化および未就園児家庭に対する支援金給付事業を予定。

質問 少子化対策は母親の育児負担を軽減することも望まれる。 **町長** 男性の育児参加は進んでいるか。働き方のモデルになる町職員の育児休暇制度取得の状況は。

町長 育児休業制度を活用した職員は、令和2年は2名、令和3年は1名であり、今後も制度取得を勧める。

質問 里親制度で育つ子どもに対する支援策は。 **教育長** 直接、里親で生活する児童の支援は行っていない。県から業務委託された里親養育支援等を行うフォスターリング機関の支援センター「ぜんゆう」と連携を図りながら周知を行う。

低額な住宅の提供を

若者や子育て世代に利用促進を図る

質問 低額な住宅の提供についての考えは。 **町長** 低額な住宅の供給は、町に寄せられる需要を開発業者と共有するよう努める。若い世代や子育て世代が定住するため、移住支援補助事業や県外からの転入者向け住宅取得資金定住促進利子補給の周知や利用促進を図る。

中央1号線 県道昇格を

隣接市町で県に要望

質問 町道中央1号線の県道昇格への取り組みは。 **町長** 生命、防災、物流などの重要な道路と認識している。今後盛岡市、紫波町と合同で(仮称)盛岡南環状線を県に要望する。

町政を問う 一般質問

令和3年度・4年度 常任委員会 活動報告

3つの常任委員会がそれぞれの所管事務について、調査や研究をした2年間の内容について報告がありました。

概要は以下のとおりですが、詳しい内容はホームページや議会事務局で閲覧できます。

総務常任委員会



ゼロエネルギーの瑞浪北中学校

テーマ

安全・安心の町と

信頼できる財政運営

取組内容

- ・委員会開催回数15回
- ・請願審査件数5件
- ・所管事務ヒアリング回数4回
- ・行政区再編成計画ヒアリング
- ・所管事務調査

【愛知県幸田町】

議会事務継続計画（BCP）

【岐阜県瑞浪市】

ゼロエネルギー（ZEB）

スーパースクール

【岐阜県恵那市】

女性役員活躍の

裾野を広げる活動

産業建設常任委員会



山都町の農業遺産（通潤橋）

テーマ

産業の活性化と利便性を

高めるまちづくり

取組内容

- ・委員会開催回数20回
- ・請願審査件数4件
- ・所管事務ヒアリング回数3回
- ・JAいわて中央、町商工会と
- ・意見交換
- ・所管事務調査

【佐賀県多久市】

官民共同による地域資源

観光シェアリング

【熊本県山都町】

新規就農サポートの取組と

移住セクションとの連携

【愛知県】

イノシシ被害防止対策

教育民生常任委員会



岐阜市教育委員会の説明

テーマ

世代間交流と社会教育の充実

取組内容

- ・委員会開催回数19回
- ・請願審査件数5件
- ・所管事務ヒアリング回数3回
- ・社会教育委員、
- ・民生児童委員と意見交換
- ・所管事務調査【岐阜県】

【高山市社会福祉協議会】

のくとい館事業

【岐阜市教育委員会】

未来を担う人づくり

【各務原市】

NPO法人つむぎの森

組織内・起業事業の推進



今後は議会だよりに関心を

議会傍聴のきっかけは、矢中町連合婦人会の桜屋北郡山支部で勉強会を計画したことだった。

午後、全体の傍聴者は16名くらい。医療や子育て、教育と貧困支援、宅地開発など快適安全まちづくりの問題を提起し質問する側、答弁する側の討議が続いた。

ここ数年の大災害、コロナ禍と次々続いた番狂わせは、もう落ち着いたのだろうか？ 何の知識も根拠もなく何を基準にと怒られそうだが、矢中は平常に推移しているのかなと思った。



しらさわ ていこ
白澤 禎子さん
(桜屋行政区)

(写真撮影のためマスクを外していただきました)

夜になると、ロシア、ウクライナのニュースが始まり、専門家や評論家の解説が始まる。それを聞きながら、何でもこんなバカな理不尽なことがまかり通るのだと腹が立つ。今我が家は、歩行困難で少々認知気味の主人と二人暮らしで心細く悲しくなる時もあるが、我が家は平和な部署なのだろう。

議会の傍聴はこれが最後かな。これからは自宅で時間を気にせず何回でも目を通せる頭の体操にもなる「やはば議会だより」この冊子に関心をもって見ようと思う。

予算決算常任委員会

第7次矢中町総合計画後期基本計画の検証報告

第7次矢中町総合計画後期基本計画策定調査特別委員会は、令和2年3月18日に調査を終え最終報告を行った。

後期基本計画の検証は予算決算常任委員会に引き継がれ、令和2年度・3年度の前半2年間の検証を行った。

調査経過

総務、産業建設、教育民生の3常任委員会で所管する分野について、進捗状況の把握や指標の達成度を確認するなど検証や評価を行った。

調査意見

すでに目標を達成したものや、成果を上げているものも確認された。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、計画の実現や進展に影響を及ぼされ、指標によっては遅れがあることも否めない。達成の見込みは難しいものの、目標に向かって努めるべきものもある。

議会としては、今後も計画期間の最終年度まで検証の必要があり、引き続き次期議員においても当局とともに目標達成に向け尽力されたい。

メモ

第7次総合計画とは

町民と協働によるまちづくりを計画的・継続的に推進するための指針として策定されました。計画期間は平成28年度から8年間です。

社会情勢の変化に対応できるように前期と後期に分けて、令和2年度から令和5年度の4年間を後期基本計画とし、さらに前半と後半に分けて検証を行っております。



予算決算常任委員会の模様



親子で楽しむフラワーアレンジメント教室（やはば一く）

地域おこし協力隊

いわくま あつ き いわくま あつ き
 岩 隈 綾 菜 さん 岩 隈 淳 樹 さん (西徳田1区行政区)

UターンUターンの 地域おこし協力隊です

私たちは、昨年10月に矢巾町地域おこし協力隊に着任しました。不來方高校時代まで矢巾町で過ごした妻と、東京で生まれ育った夫のいわゆるUターンとIターン移住です。私は、畑や田んぼでの農業、山や川など自然豊かな場所ので遊んだ経験や、学校給食をはじめとした矢巾町の食、人の温かさがずっと心に残っていました。

今は都市化が進み街並みもだいぶ変わってしまいました。が、離れてみて改めて感じる町の良いところや課題も徐々に見えてきたように思います。今まで学んできた「食」の分野を中心に活動を展開しながら、今までも、そしてこれから自分の中で矢巾町が好きな町として誇れるように魅力を発信していきたいです。

(綾菜)

後半は私、岩隈淳樹にバトンをタッチ！新聞や広報などで見聞きした方が多い事かと思われませんが、再度の自己紹介をしたいと思います。

私は東京で生まれ育ち現在に至るまでの半分以上の月日を植物と共に過ごして参りました。明確に植物の環境に包まれ始めたのは農業高校の学生生活からになります。それ以前は幼少期から始まった母との植物に触れる体験になります。小学校の卒業文集では接ぎ木に関して記載もしました。

生きた年数の半分は植物に溢れておりましたが、未だに解らない事も多くあり、岩手での生活はさらなる植物の勉強の場として最高の環境であると思っております。

もし植物の事で困ったら気軽に相談してください。

(淳樹)

あとがき

3月会議は通称予算議会とも言われ、新年度4月からの事業をどの程度の規模で行うことになるかが焦点となります。

全国で出生数が減る中、子育てに関わる施策・予算が目立つ内容でありました。

今任期メンバー最後の議会だより編集を、読者目線で読んで頂けるよう作成に努めました。

編集委員 赤丸 秀雄

表紙に寄せて

4月8日、徳田保育園の入園式が行われました。ご家族、保育園の先生方、地域の方に見守られながら、健やかな成長を願います。

式では在籍園児による園歌の披露がありました。



発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 川村よし子

委員 谷上 知子

高橋 安子

赤丸 秀雄



過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます。

